

製品創製説明会

2026年3月19日

1

グローバルR&Dの ミッションと戦略

Santenの理念体系

天機に参与する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。*

* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

基本理念

Santenの存在意義

Happiness with Vision

世界中の一人ひとりが、
Best Vision Experienceを通じて
それぞれの最も幸福な人生を実現する
世界を創り出したい。

私たちのビジョン

Santenが目指す理想の世界

行動原則

肝心な事は何かを深く考え、
どうするか明確に決め、迅速に実行する

私たちの行動原則と 価値観

基本理念を実践し、
ビジョンを実現するための
行動と判断の拠り所

価値観

患者さん中心 誠実と信頼 絶え間ない進化 共に成し遂げる

中期経営計画におけるグローバルR&Dのミッション

中期経営計画期間中の売上への寄与、及び2030年度以降の持続的な成長を実現する
Rxポートフォリオ・パイプラインを拡充する

将来のポートフォリオの拡大

パイプライン価値の増強

R&D実行の改善



現行パイプライン
の承認取得早期化



LCM¹の継続推進



BD²のターゲット
選定と機能・
プロセス強化



点眼薬製剤技術の
開発



新規モダリティへの
挑戦

中期経営計画におけるグローバルR&Dのミッション

中期経営計画期間中の売上への寄与、及び2030年度以降の持続的な成長を実現する
Rxポートフォリオ・パイプラインを拡充する



承認取得
早期化

開発期間の短縮・
開発加速

- 臨床開発における施設選定・患者リクルートメントなどの改善
- 規制当局との早期相談・フィードバックの獲得



LCM

医療ニーズを捉えた
新剤型の開発・展開

- アレジオンクリームのアジア・中国での開発・展開
- PFMD¹による利便性向上を目的とした剤型追加 (Catiolanze、Roclanda)
- 新製品の早期LCM着手



BD

メガファーマが着目
しないシーズ・製品の
獲得

- 開発・販売実績に基づく新規パートナーシップの機会による初の治療手段となる製品及び未参入市場の製品を獲得



製剤技術

新たな点眼薬治療の
可能性追求

- 後眼部疾患治療のためのDrug Delivery System (DDS) 技術など



新規
モダリティ

未だ治療薬が存在
しない疾患に対する
治療薬の開発

- 遺伝性眼科疾患、難治性角膜疾患などの治療薬開発

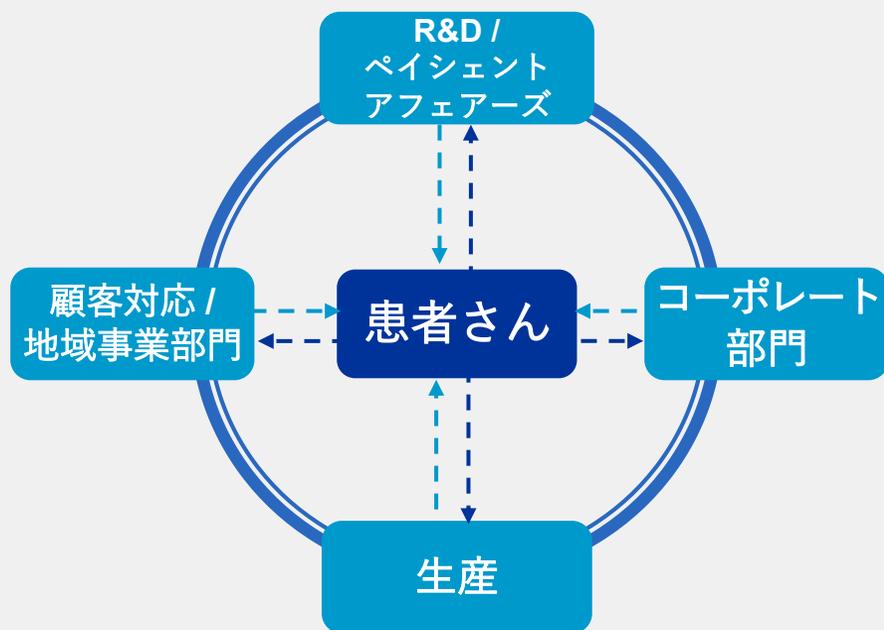
グローバルR&D戦略: 患者さん中心

患者さん視点/
未充足ニーズ

R&D戦略

BD x R&D

新規パイプライン/
新規パートナー



Santenにおける患者さんを中心とした
コミュニケーションとコラボレーション



戦略と製品ライフサイクル全体に
患者洞察を組み込む



患者ニーズと、意義ある健康成果に
つながるペイシエント・ジャーニーを
深く理解する



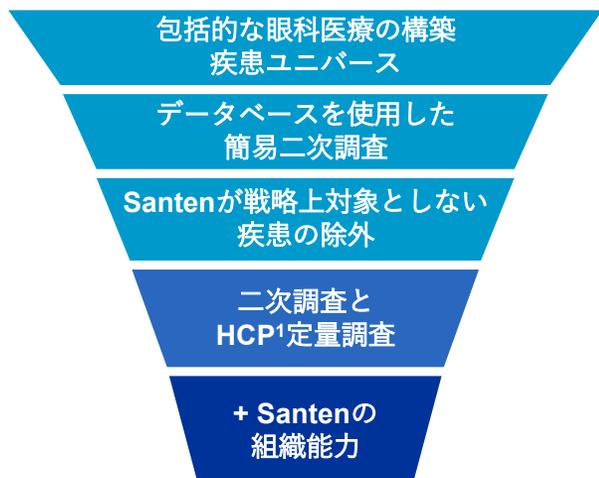
実用的な知識を通じて患者さんを
支援する

グローバルR&D戦略：ターゲット疾患領域

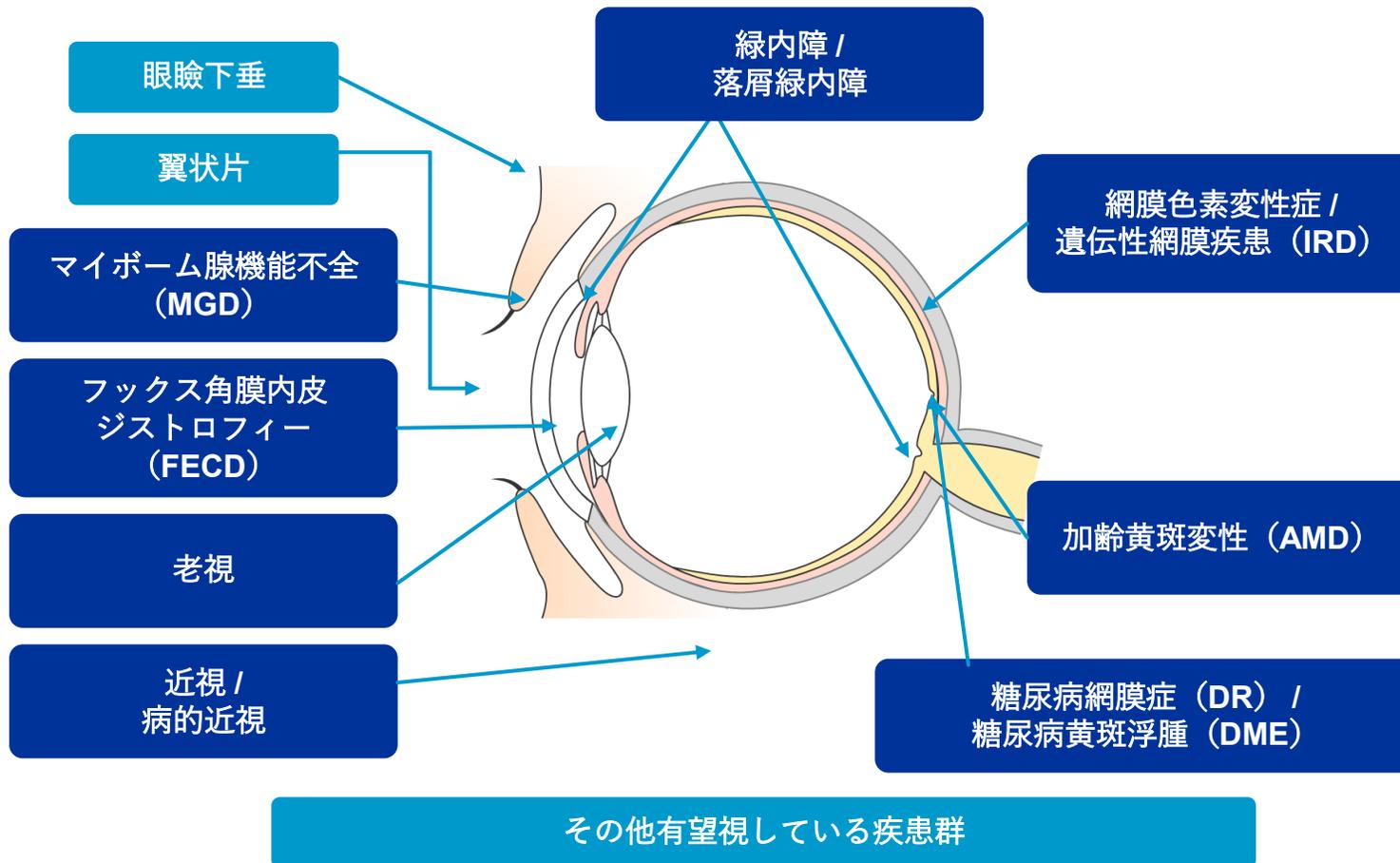


👁️ 疾患領域

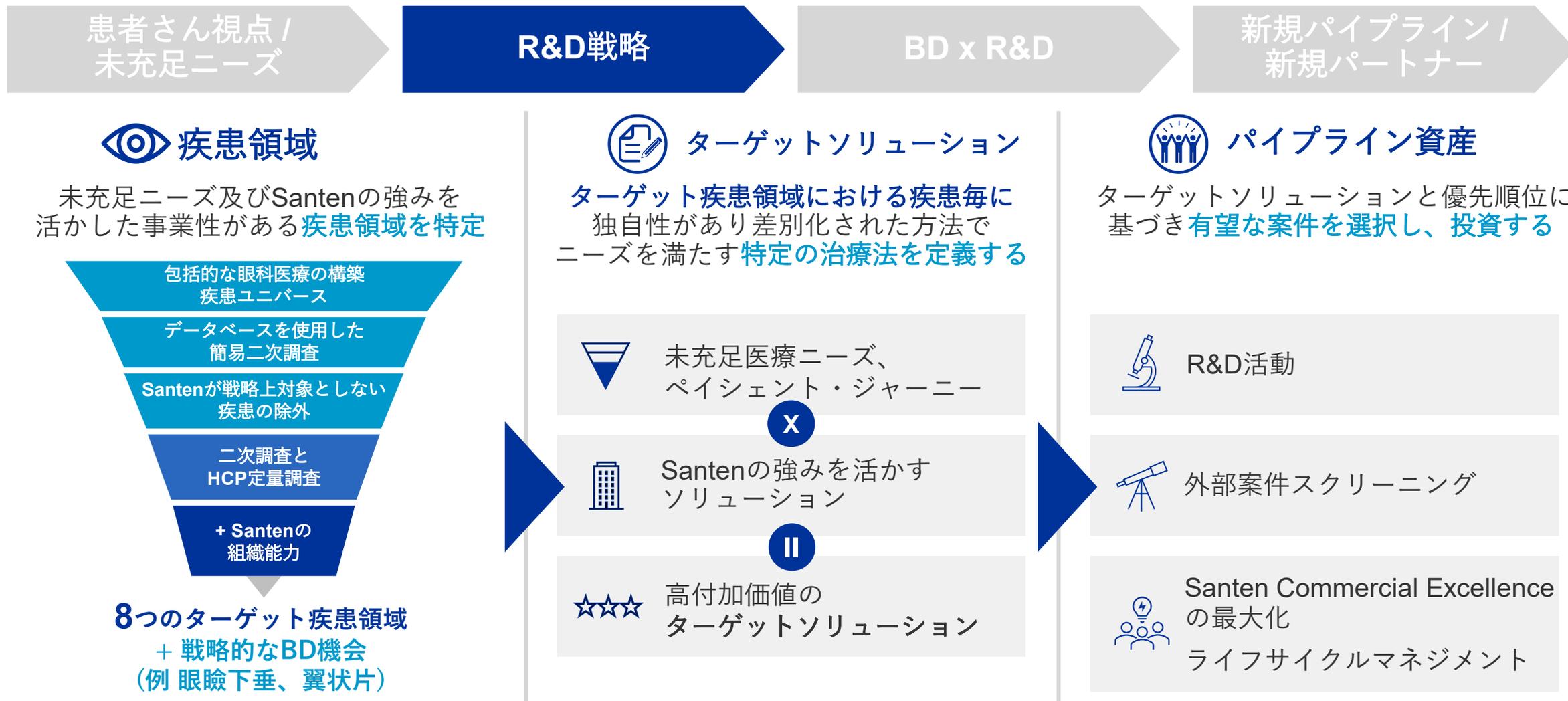
未充足ニーズ及びSantenの強みを活かした事業性がある疾患領域を特定



8つのターゲット疾患領域
+ 戦略的なBD機会
(例 眼瞼下垂、翼状片)



グローバルR&D戦略：ターゲットソリューションとパイプライン

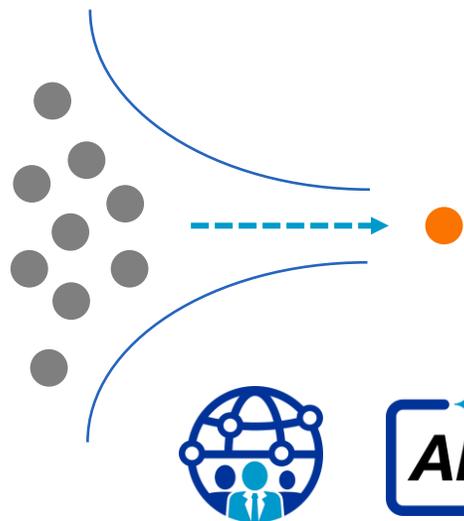


グローバルR&D戦略：ターゲットソリューションとパイプライン

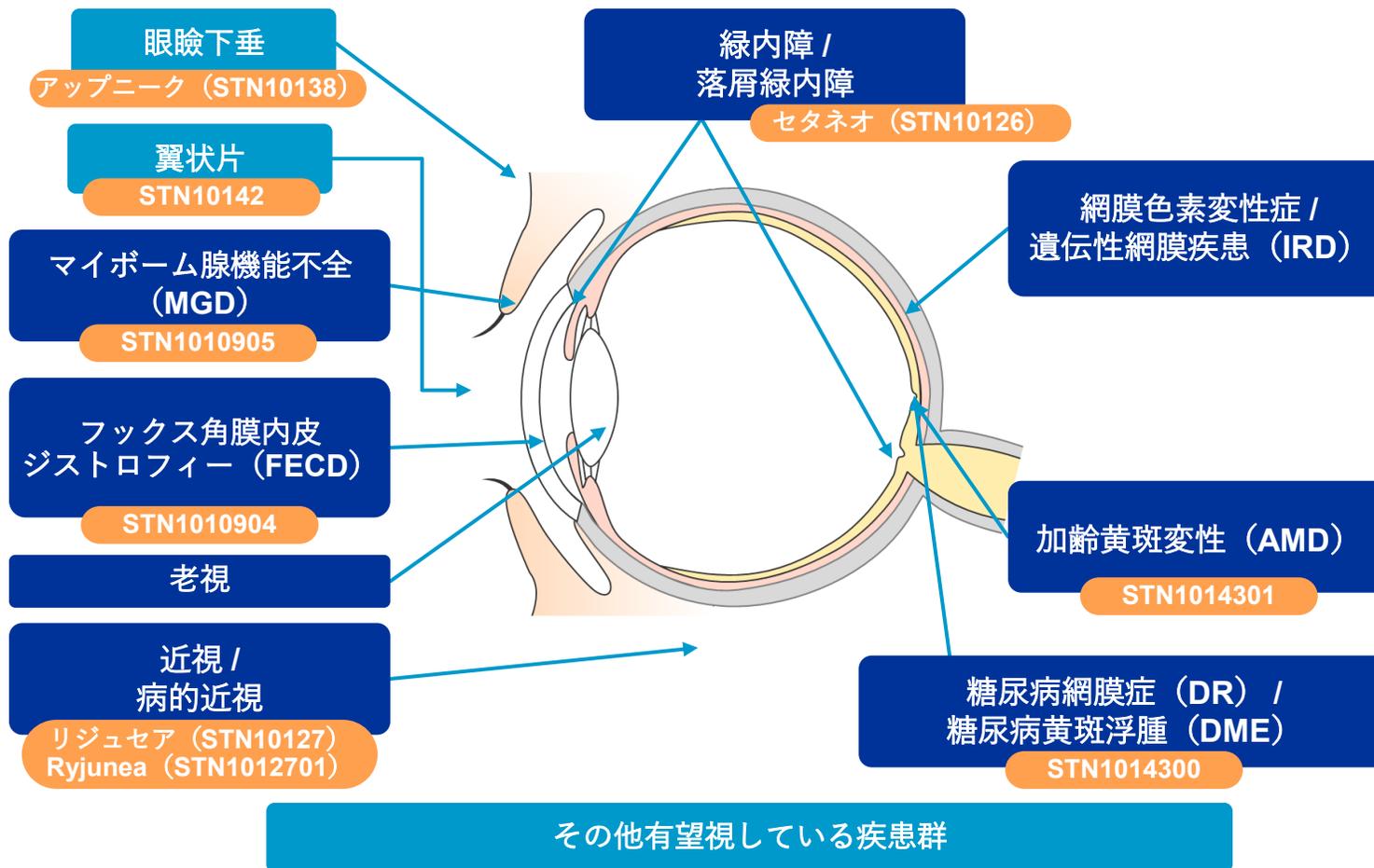


パイプライン資産

外部機会



新技術を用いた製品の
専門家による評価と開発

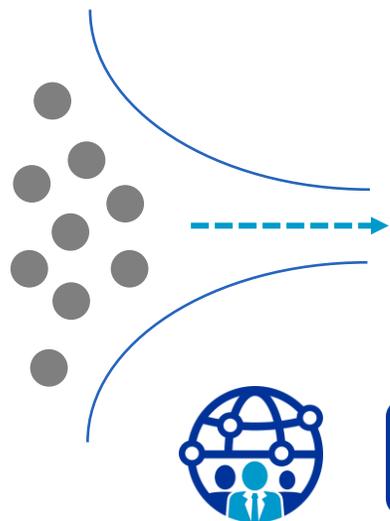


新疾患領域におけるSantenの新規パイプライン

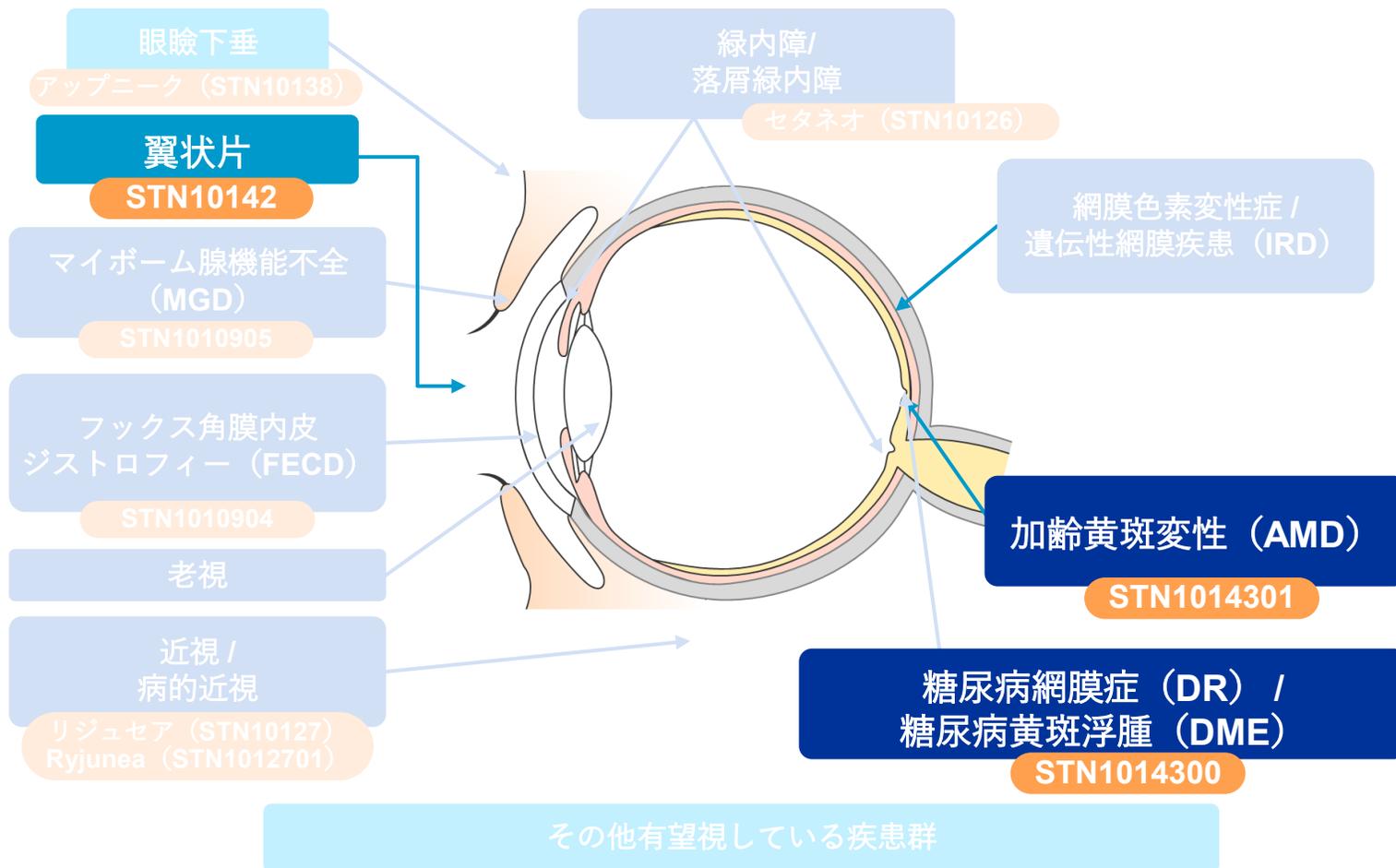


パイプライン資産

外部機会



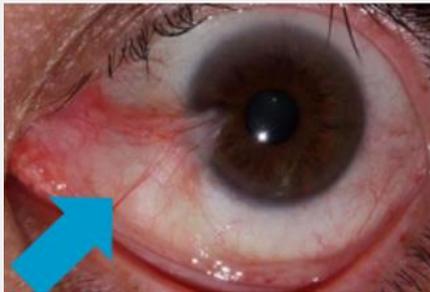
新技術を用いた製品の
専門家による評価と開発



STN10142 :

手術中心の翼状片治療に対する新しい選択肢としての点眼剤

翼状片と 未充足ニーズ



- 結膜下の組織が異常増殖し、血管を伴った三角形の組織が角膜の中心に向かい侵入したもの
- 異物感、充血や乱視などを引き起こす
- 太陽光（紫外線）への暴露が主なりスクファクター
- 根本治療は手術のみ。点眼薬はない
- 手術にも課題あり
 - ・ 術式によっては再発する傾向がある
 - ・ 再発例では手術の難易度が上がる
 - ・ ライフスタイルや職業（スポーツ選手など）によっては手術のタイミングが難しい
- 有病率：日本 40歳以上の4%¹、韓国 3.8%²、ベトナム・マレーシア・フィリピン・タイ 40歳以上の10.1%³

STN10142とその作用機序

ニンテダニブを有効成分とする点眼剤。マルチキナーゼ阻害剤であり、VEGF受容体および、PDGF受容体、FGF受容体に作用し、血管新生および線維化を抑制

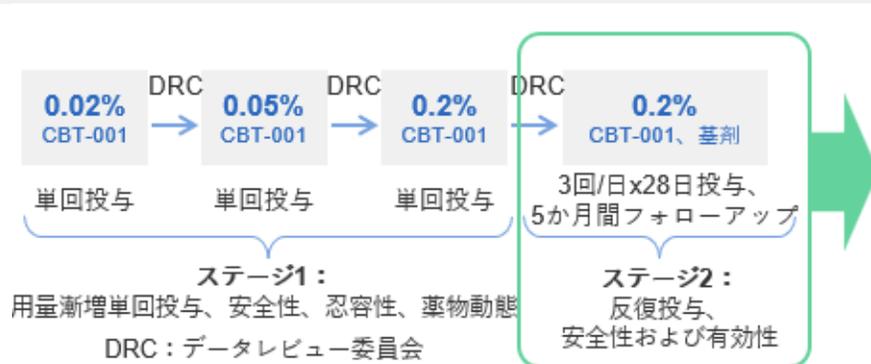


11 1. Tano et al, *Acta Ophthalmol* 91(3):e232-6, 2013
2. Rim TH et al, *PLoS One* 12(3) e0171954, 2017
3. Ang M et al, *Ophthalmology* 119(8):1509e15, 2012

STN10142 :

手術中心の翼状片治療に対する新しい選択肢としての点眼剤

米国でのP2a試験にて、POC取得済み



ステージ2の結果

- 最も頻度高く報告されたCBT-001に関連する有害事象は、眼に関する中程度のものであり（結膜変色）、投薬終了後には解消され、これによる脱落例は無かった
- ベースラインでの人口統計学的特性は、CBT-001 (n=25) と基剤 (n=23) 投与の患者間で類似していた
- 投与後4週の平均血管分布グレードは、基剤 (0.0) に比べCBT-001 (-0.8) 投与の患者において有意に減少していた (p<0.001)
- 血管分布グレードは、投与後8週および16週においても有意な減少が維持されていたが、投与後24週においては維持されていなかった
- CBT-001群の投与後4週および8週の翼状片の長さが、有意に縮小した (p<0.05)

図1. ベースラインからの翼状片血管分布平均グレードの変化 (p-value: 薬剤 vs 基剤)

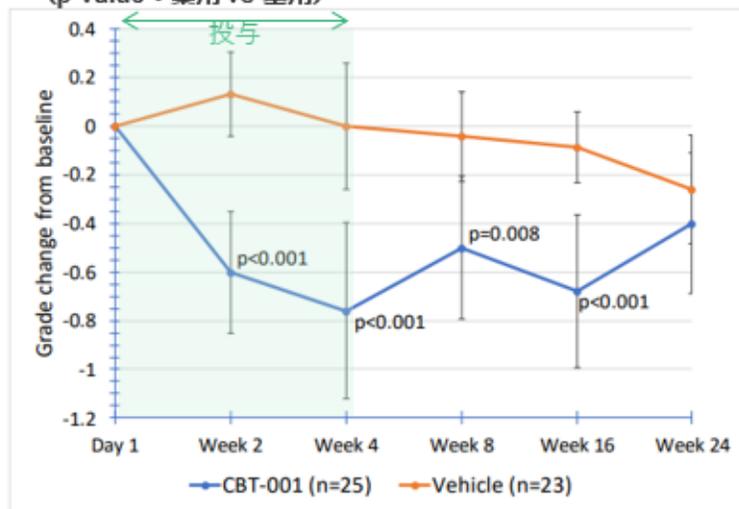
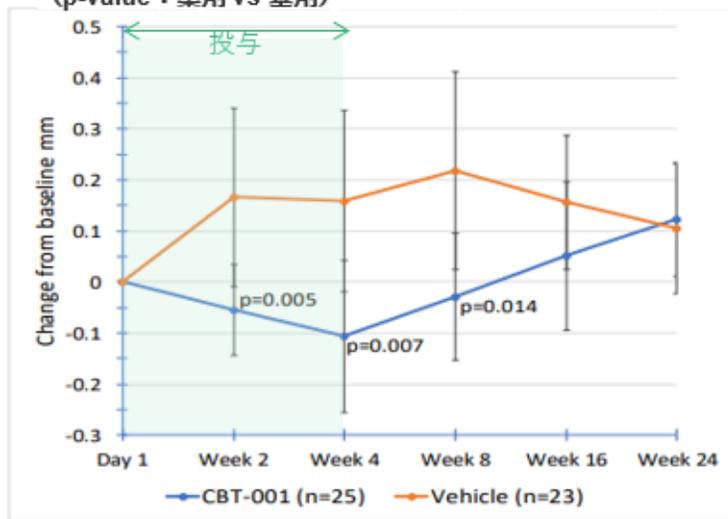


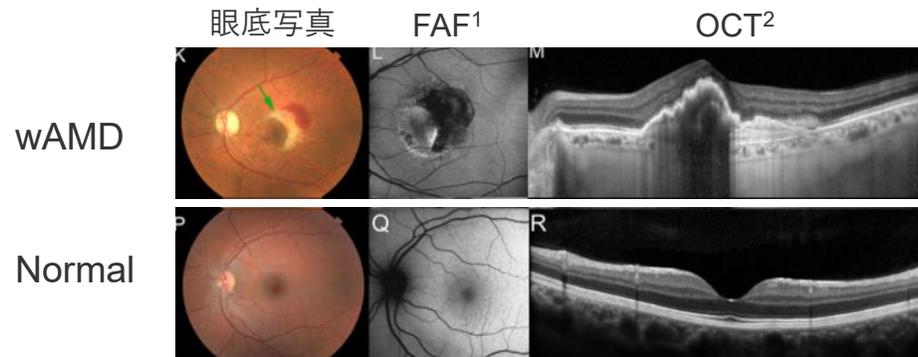
図4. ベースラインからの翼状片長の平均変化値 (p-value: 薬剤 vs 基剤)



STN10143:

抗VEGF/FGF二重特異性タンパク質による新しい治療薬

wAMD/DMEと未充足ニーズ

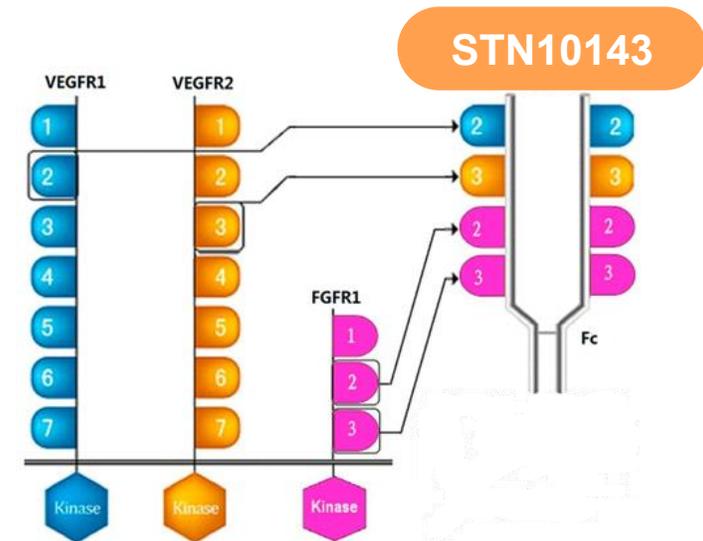


Majda Hadziahmetovic and Goldis Malek, *Front Cell Dev Biol*, 2021;8:612812

- 滲出型加齢黄斑変性 (wAMD) 及び糖尿病黄斑浮腫 (DME) は失明の原因ともなり得る網膜疾患
- 一般的な治療法は抗VEGF薬の硝子体内注射による新生血管増殖及び網膜浮腫を促進する血管内皮成長因子 (VEGF) の抑制
- 線維化/癒痕化は網膜の不可逆的な損傷であり、抗VEGF治療の予後不良の要因の一つ。wAMD/DMEの未充足ニーズと認識されている

STN10143とその作用機序

- VEGF-AとFGF-2を同時に阻害する二重特異性IgG1融合タンパク質、Eflimrufusp alfa の硝子体内注射製剤
- FGFは血管新生及び線維化/癒痕化形成に関与すると考えられていることから、STN10143は現在の一般的な抗VEGF治療に比べ、付加的なベネフィットをもたらす治療オプションとなる可能性がある

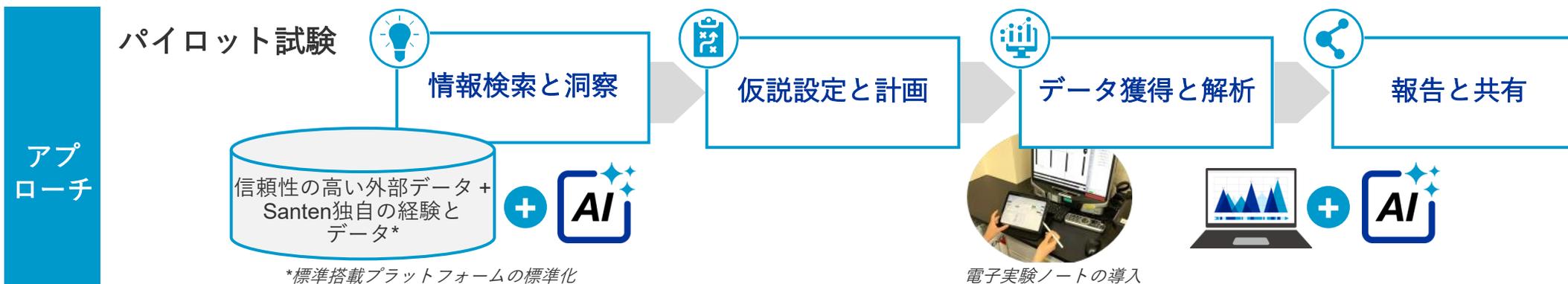


Biomolecules. 2019 Oct 24; 9(11): 644

グローバルR&D戦略：AI活用とデジタルトランスフォーメーション

Santen R&DはAI/機械学習技術で組織能力を変革

	目的	成果	次計画
何を？	加速化	・ CMC ¹ 最適化（予測モデル）	・ 臨床試験デザインとリアルタイムモニタリング
	リバーストランスレーション （臨床から基礎へのフィードバック研究）	・ ターゲット発見のための補完的なコラボレーション	・ 検証のための薬理試験 ・ ターゲット疾患領域への展開
	生産性改善	・ 文書作成（CSR ² など）	・ R&D活動における生成AIの利用範囲拡大



組織のエンパワーメント：AIを活用する人材の育成

眼における将来の薬物送達技術

「簡便」かつ「非侵襲的」な局所投与により薬剤を必要な場所に正確に送達し、これまでは届かなかった組織に到達させることで、Santenは革新的な製品を生み出す

高度な粘膜付着保持デザイン

アトロピン製剤やカチオン性乳化技術等のノウハウを活用

- 粘膜付着性と眼内薬物分布制御におけるこれまでの経験を活用
- 目的部位に薬物をより長く、より効果的に保持する設計

非侵襲的クリーム剤のプラットフォーム

簡便で非侵襲的な持続製剤

- 簡単な局所投与
- 正確な投与を可能にしながら、患者さんの受容度を向上

後眼部への送達キャリア

非侵襲的な局所投与では届かなかった組織への到達

- 眼表面から薬剤を輸送
- 従来の点眼薬では届かなかった組織へのアクセスを可能に

グローバルR&D戦略：パイプライン充実化のためのR&Dネットワーク

アカデミアやバイオテック、製薬・化学企業、患者さん団体との連携による革新的な製品の開発



患者さん団体



アカデミア

- ユニバーシティカレッジロンドン (UCL)
- シンガポール眼科研究所 (SERI) など



バイオテック

- Arctic Vision
- Cloudbreak Pharma
- RemeGen など



製薬・化学企業

- ベーリンガーインゲルハイム
- Alcon
- AGC
- UBE
- 小野薬品工業 など

2

Santenの 製品創製と製品価値最大化

眼科市場のポテンシャル

眼科市場における
高い未充足ニーズ



低い効果/
安全上の懸念

低い
アドヒアランス

治療薬や標準治療
がない眼疾患

点眼薬の追加

点眼薬の変更

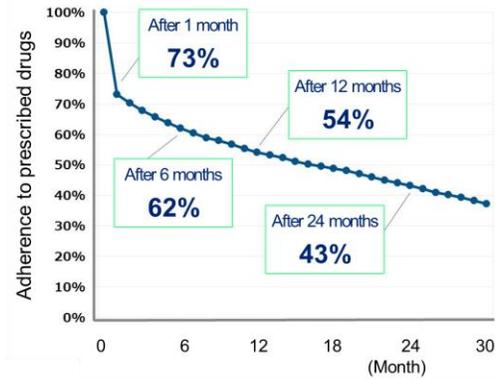
他の治療への切り替え
(手術など)

点眼行為の負担増

効果と安全性の確認の必要性

他の治療・手術の負担

新規緑内障患者のアドヒアランス¹



点眼回数とアドヒアランス²
1-2 回点眼 > 3回以上点眼

近視、翼状片、網膜色素変性症、など

Santenの製品創製および製品価値最大化

眼科市場における
高い未充足ニーズ



低い効果/
安全上の懸念



低い
アドヒアランス



治療薬や標準治療
がない眼疾患

Santenの価値貢献
—開発事例—

プロスタグランジン関連製品群

アレジオン製品群

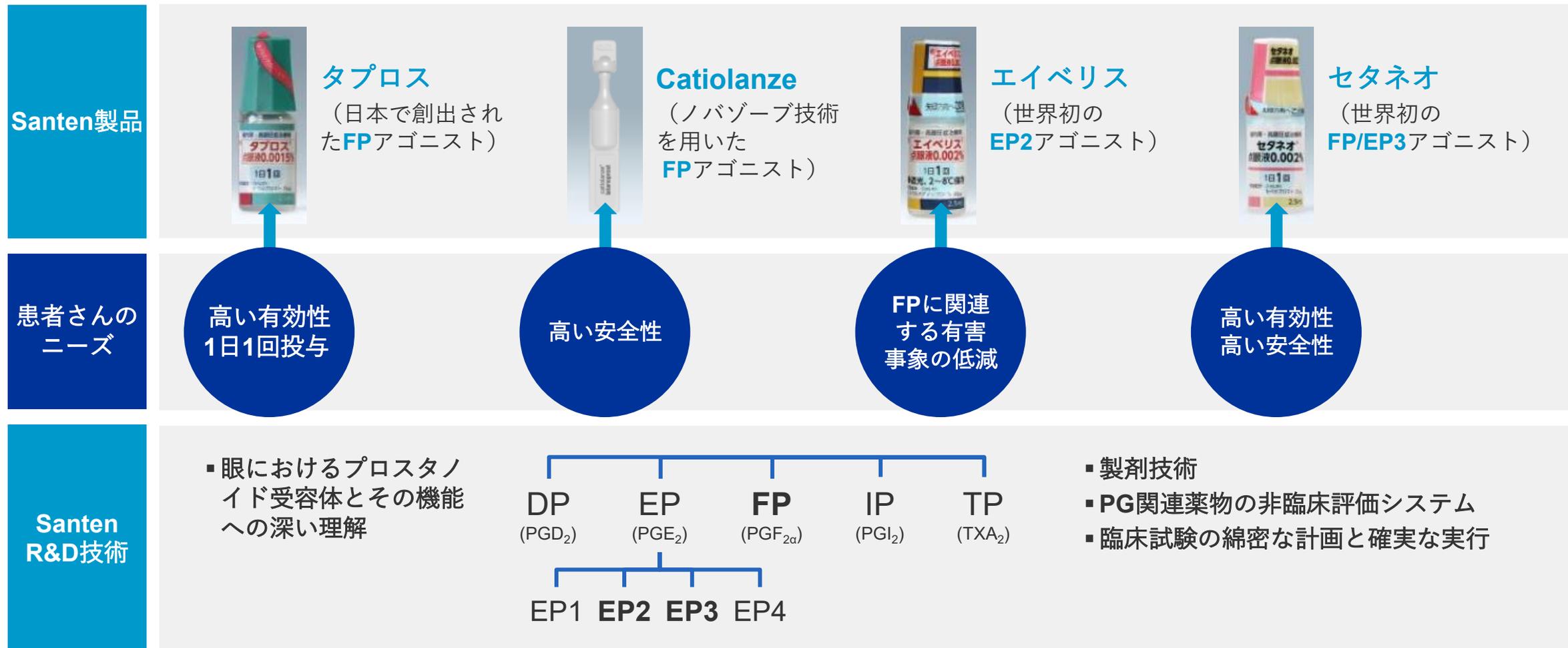
日本で初めてとなる近視のための処方点眼薬

“Santen Commercial Excellence”

強みの相乗効果を生み、効果的に成果につなげるための組織能力

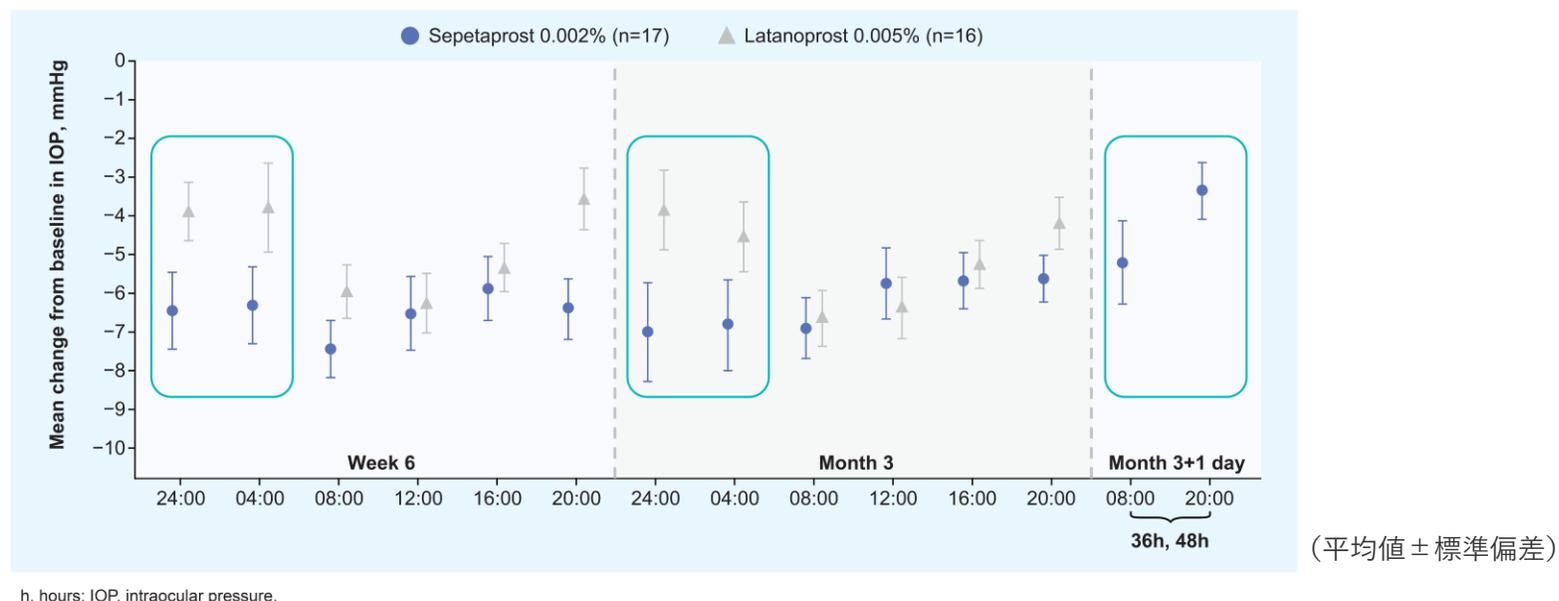
緑内障に関するSantenの研究に基づくPG関連製品

Santenは患者さんの未充足ニーズを深く理解している



開放隅角緑内障または高眼圧症患者におけるセペタプロストの24時間の有効性

開放隅角緑内障または高眼圧症の被験者において、
3か月目の夜間の眼圧はラタノプロストよりもセペタプロストで一貫して数値的に低かった



ベースラインからの
変化量 (mmHg)

Mean	6W							3M						3M + 1day				
		24:00	4:00	8:00	12:00	16:00	20:00		24:00	4:00	8:00	12:00	16:00	20:00		8:00	20:00	
Change from BL (mmHg)	LAT	N=16	-3.88	-3.78	-5.97	-6.25	-5.34	-3.56	N=16	-3.84	-4.53	-6.66	-6.38	-5.25	-4.19	-	-	-
	SET	N=17	-6.44	-6.32	-7.44	-6.53	-5.88	-6.41	N=16	-7.00	-6.81	-6.91	-5.75	-5.69	-5.63	N=16	-5.22	-3.34

投与後36、48時間の眼圧変化量においても、セペタプロスト群では、各時間に対応するベースラインに比べて3~5 mmHg程度の眼圧下降を維持した

Santenの製品創製および製品価値最大化

眼科市場における
高い未充足ニーズ



低い効果/
安全上の懸念



低い
アドヒアランス



治療薬や標準治療
がない眼疾患

Santenの価値貢献
—開発事例—

プロスタグランジン関連製品群

アレジオン製品群

日本で初めてとなる近視のための処方点眼薬

“Santen Commercial Excellence”

強みの相乗効果を生み、効果的に成果につなげるための組織能力

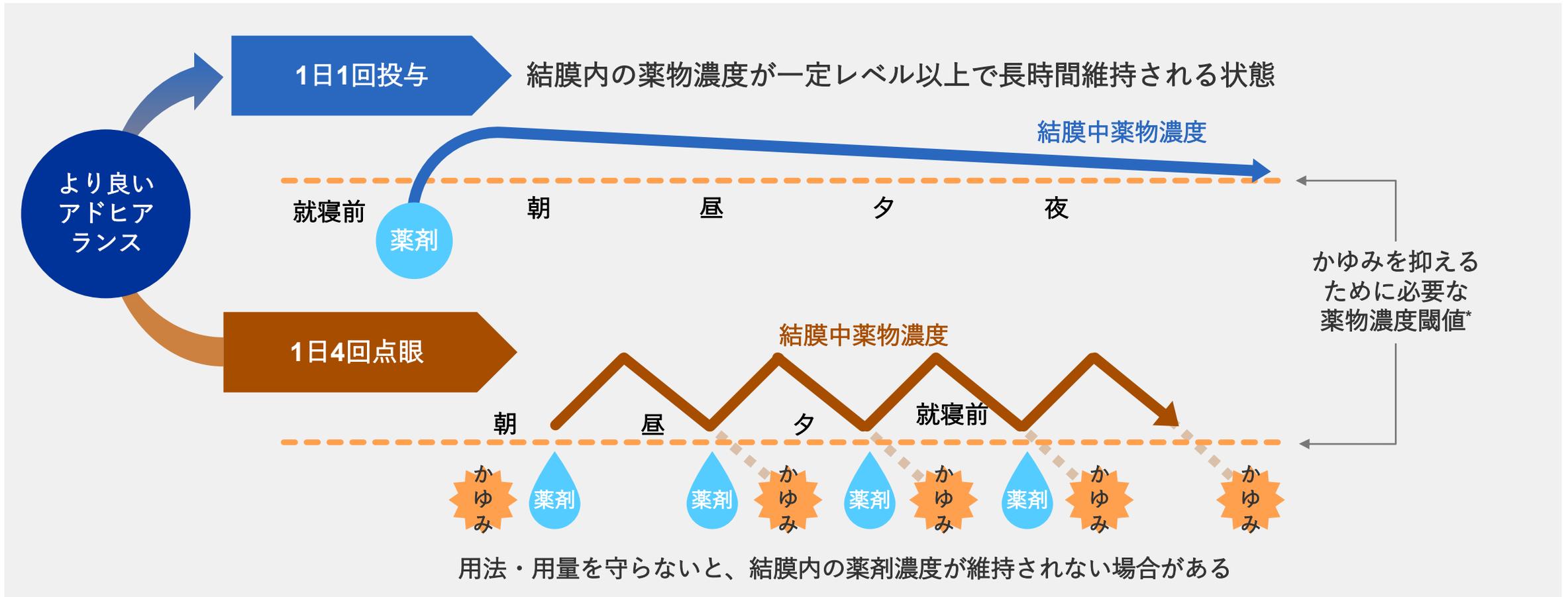
アレルギー性結膜炎に対するアレジオンの継続的なLCM

眼科医療や患者さんのニーズへの深い理解に基づき、アレジオン製品群に反映させ続けている



アレジオン眼瞼クリーム：点眼薬からのパラダイムシフト

アレルギー性結膜炎に対する世界初のクリーム製剤
コンセプトから製品へ

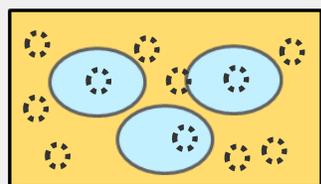


アレジオン眼瞼クリーム：点眼薬からのパラダイムシフト

エピナスチンを標的組織に確実にかつ持続的に送達

製剤主導のイノベーション：
効率的な皮膚浸透を実現するオ
イルベースのクリーム処方

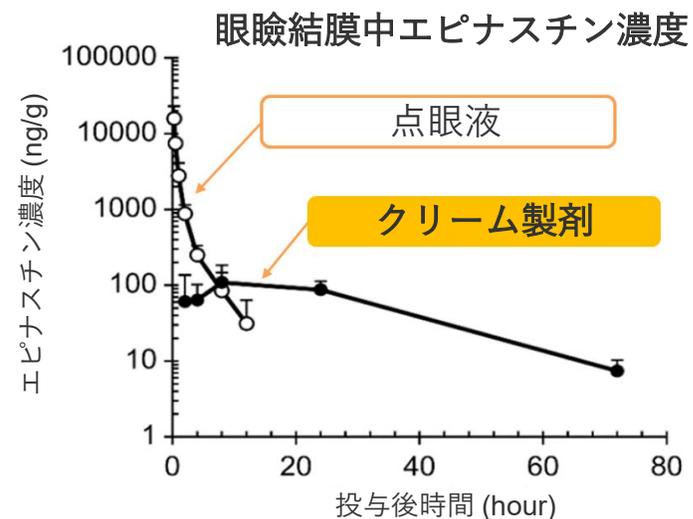
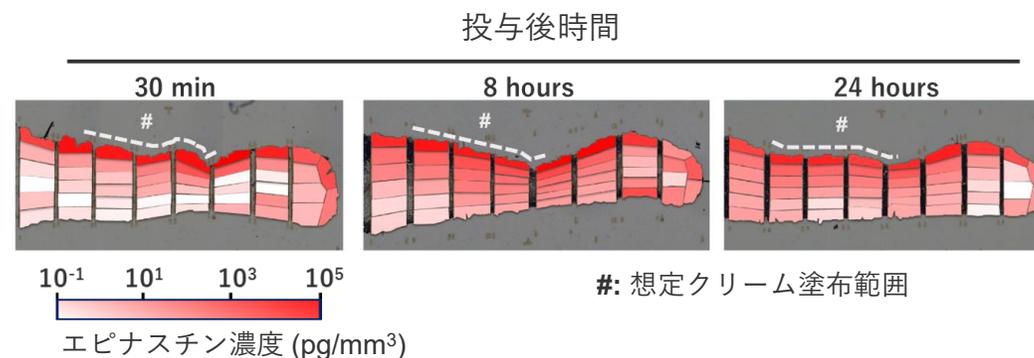
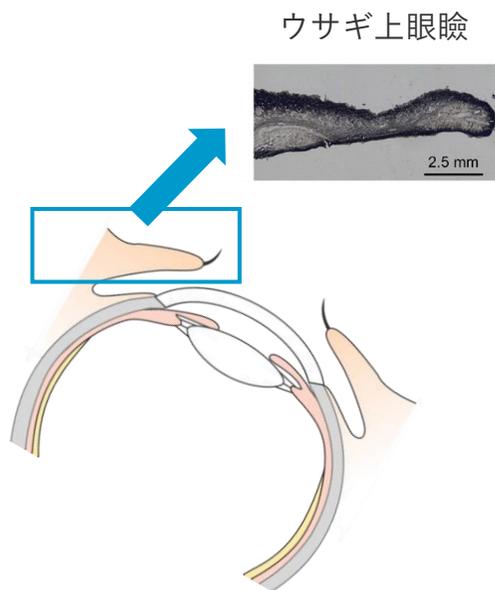
W / O: water in oil



○ 水相 ■ 油相

⊗ 有効成分は溶解状態

水溶性のエピナスチンを
溶解状態で製剤の油層に
分布させる技術



Santenの製品創製および製品価値最大化

眼科市場における
高い未充足ニーズ



低い効果/
安全上の懸念



低い
アドヒアランス



治療薬や標準治療
がない眼疾患

Santenの価値貢献
—開発事例—

プロスタグランジン関連製品群

アレジオン製品群

日本で初めてとなる近視のための処方点眼薬

“Santen Commercial Excellence”

強みの相乗効果を生み、効果的に成果につなげるための組織能力

リジュセアミニ：近視に対する日本初の点眼処方薬

製剤技術による効果と副作用のバランスが取れている

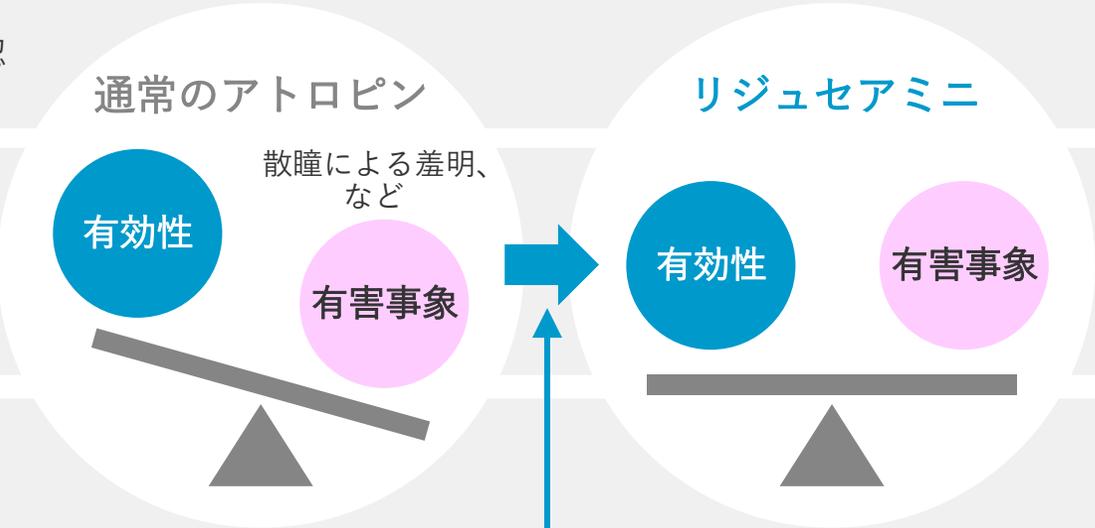
Santen
製品



リジュセアミニ
点眼液0.025%
(2024年に日本で承認された初めての製品)

患者さんの
ニーズ

効果と安全性の
バランスが取れた
製品



通常のアトロピン
散瞳による羞明、
など

有効性

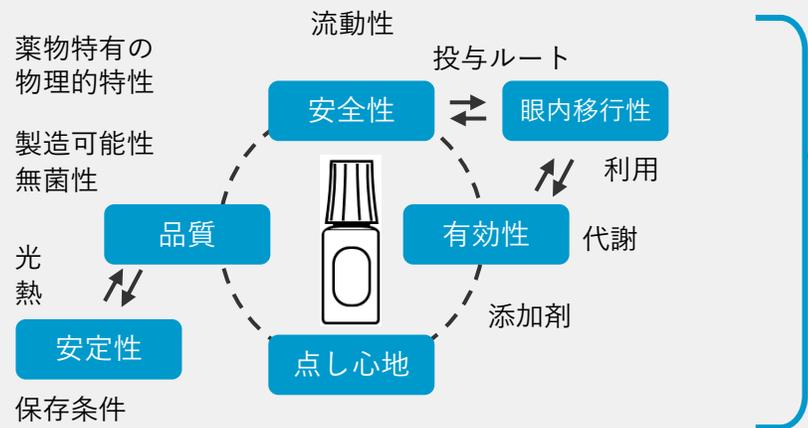
有害事象

リジュセアミニ

有効性

有害事象

Santen
R&D技術



流動性

投与ルート

安全性

眼内移行性

製造可能性

無菌性

品質

有効性

利用

代謝

安定性

点し心地

添加剤

保存条件

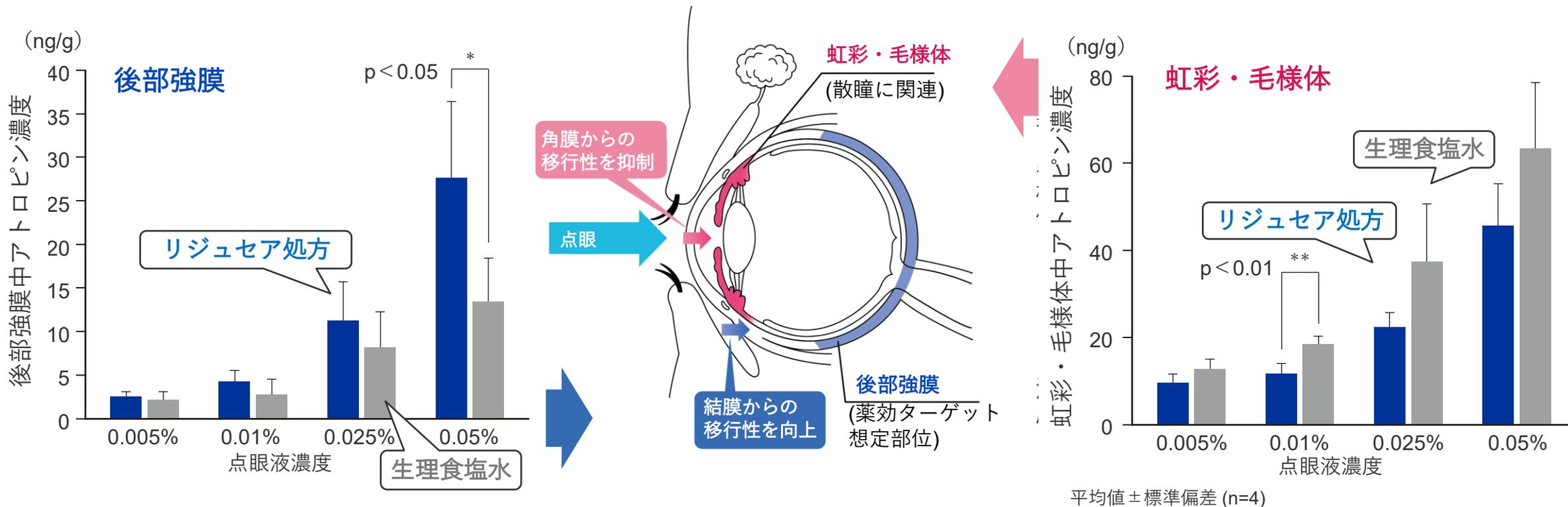
- 新しい処方
- 新しい薬物動態評価システム
- 新しい薬理学的評価システム
- 臨床エビデンスの利用
- 新しい臨床試験
- 児童・学童とその保護者の理解と協力

リジュセアミニ：近視に対する日本初の点眼処方薬

患者洞察に基づく製剤イノベーション：副作用を軽減しながら有効性を高める
患者中心の研究開発による価値創造の明確な例

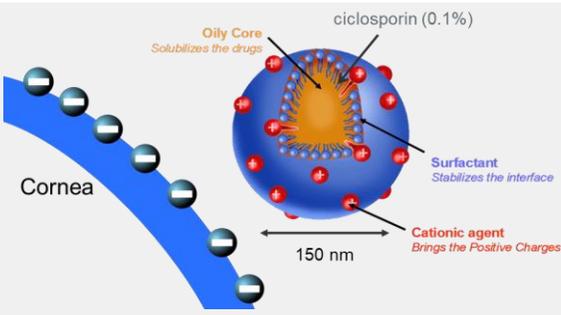
薬効が期待される部位への移行性を高めることで薬効を向上

散瞳に關与する虹彩・毛様体への移行性を抑制し、散瞳リスクを軽減



Santenの製品創製と製品価値最大化：様々な眼疾患に対応する独自の製剤技術

カチオン性乳化技術（Novasorb®）を利用した点眼薬と適応拡大製品開発におけるこの技術の活用を最大限に活用

Santen 製品		Cationorm (2008年 欧州上市)		Ikervis (2015年欧州 で初のシクロ スポリンA製 品として上市)		Verkazia (2018年欧州で 希少患薬とし て上市)		Catiolanze (2024年欧州上市)
患者さんの ニーズ	ドライアイ による眼表面の 不快感や刺激を 軽減し、保護する 新薬		重症角膜炎 に対する新薬		小児、青年に おける VKC の 新しい治療薬*		緑内障治療薬 の長期投与中 に眼表面への 安全性を高め る製品	
Santen R&D技術					カチオン性乳化技術 (Novasorb®) <ul style="list-style-type: none">眼表面に保護層を作り、水分を保持して蒸発を防ぐ生物学的利用率の改善			

眼における将来の薬物送達技術

「簡便」かつ「非侵襲的」な局所投与により薬剤を必要な場所に正確に送達し、これまでは届かなかった組織に到達させることで、Santenは革新的な製品を生み出す

高度な粘膜付着保持デザイン

アトロピン製剤やカチオン性乳化技術等のノウハウを活用

- 粘膜付着性と眼内薬物分布制御におけるこれまでの経験を活用
- 目的部位に薬物をより長く、より効果的に保持する設計

非侵襲的クリーム剤のプラットフォーム

簡便で非侵襲的な持続製剤

- 簡単な局所投与
- 正確な投与を可能にしながら、患者さんの受容度を向上

後眼部への送達キャリア

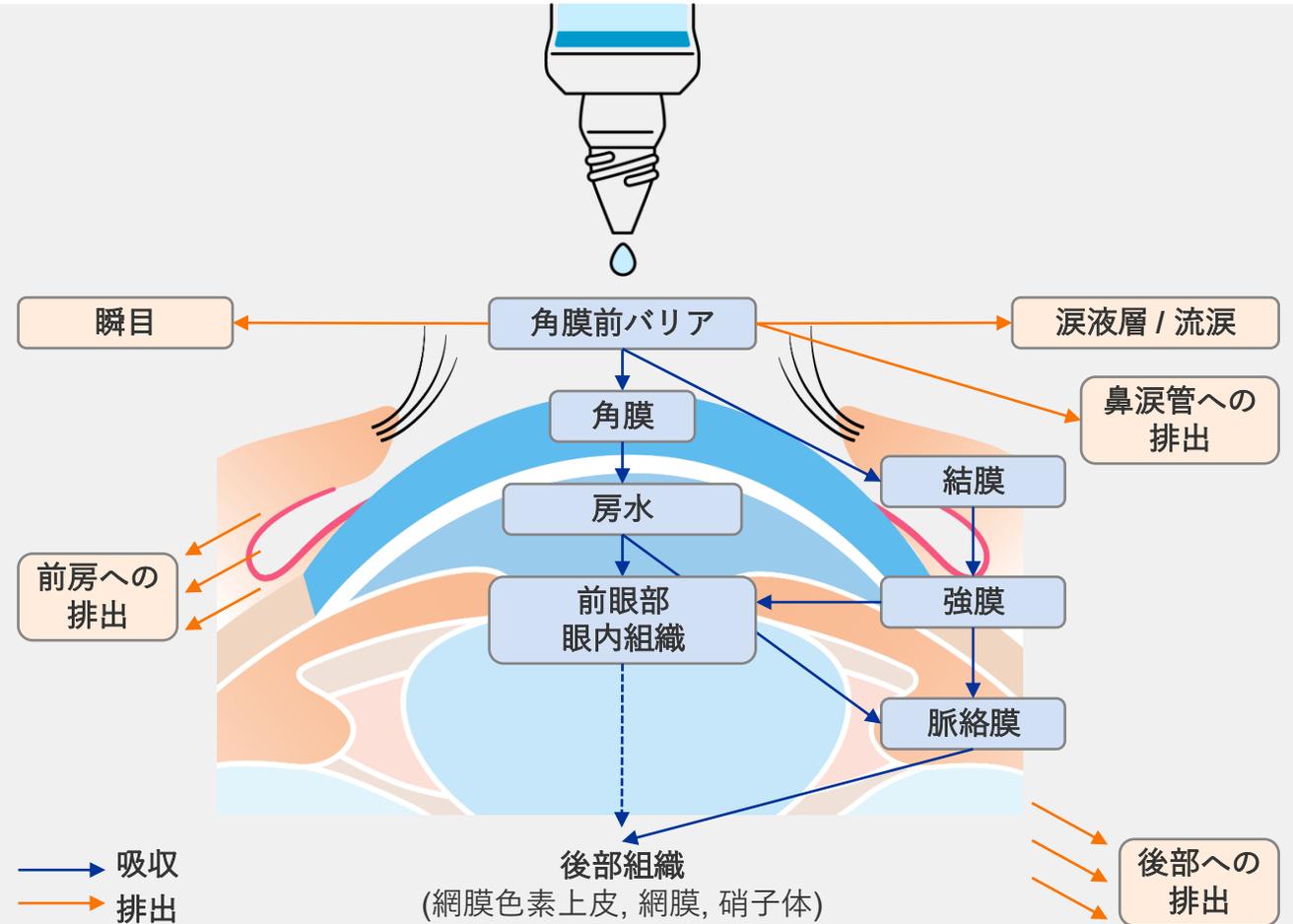
非侵襲的な局所投与では届かなかった組織への到達

- 眼表面から薬剤を輸送
- 従来の点眼薬では届かなかった組織へのアクセスを可能に

局所投与による眼内への薬物送達障害

通常、眼組織に到達する薬剤の量は極めて少ない

- 投与直後、角膜前バリアにより薬剤の約80～90%が洗い流される
- 点眼薬で投与される薬剤の量のうち、房水に到達するのはおよそ 1/1,000、後部組織に到達するのは 1/10,000 未満

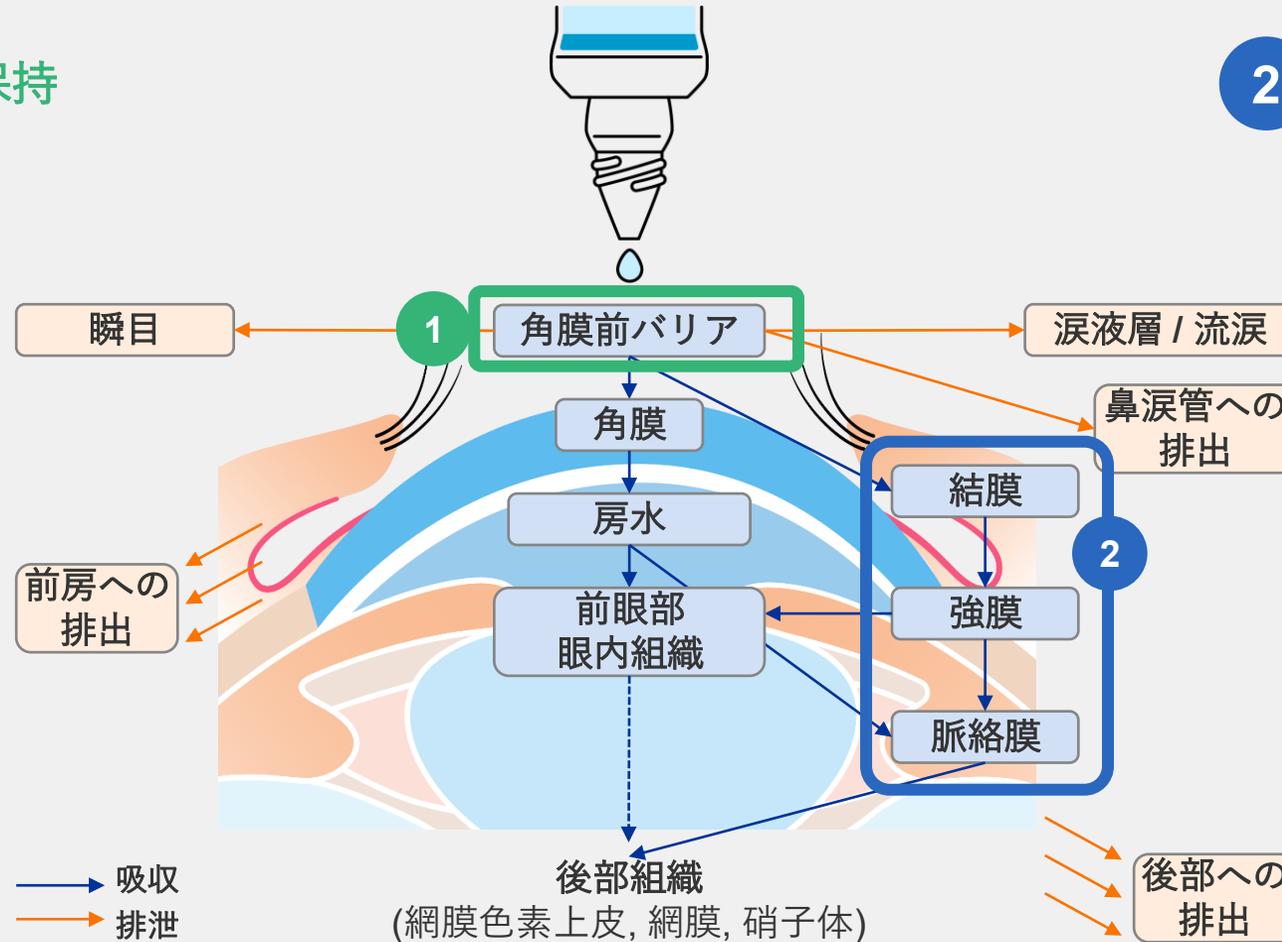


眼への薬物送達のためのナノキャリア

1 高度な粘膜炎着保持

より多くの薬剤を、より長く、必要な組織に正確に送達

- 粘膜炎着性ナノキャリアとアトロピン製品等で確立された製剤ノウハウを融合
- 標的組織における薬剤曝露量と曝露期間の両方を向上させることを目指す



2 高度な後眼部組織への薬物送達

これまで届かなかった標的組織に正確に薬剤を届ける

- ナノキャリアにより、結膜を通してこれまで到達できなかった組織に到達
- 眼表面から送達可能

3

BDの観点からの 新規パイプライン

中期経営計画における私たちのミッション

中期経営計画期間中の売上への寄与、及び2030年度以降の持続的な成長を実現する
Rxポートフォリオ・パイプラインを拡充する



承認取得
早期化

開発期間の短縮・
開発加速

- 臨床開発における施設選定・患者リクルートメントなどの改善
- 規制当局との早期相談・フィードバックの獲得



LCM

医療ニーズを捉えた
新剤型の開発・展開

- アレジオンクリームのアジア・中国での開発・展開
- PFMDによる利便性向上を目的とした剤型追加 (Catiolanze、Roclanda)
- 新製品の早期LCM着手



BD

メガファーマが着目
しないシーズ・製品の
獲得

- 開発・販売実績に基づく新規パートナーシップの機会による初の治療手段となる製品及び未参入市場の製品を獲得



製剤技術

新たな点眼薬治療の
可能性追求

- 後眼部疾患治療のためのDrug Delivery System (DDS) 技術など



新規モダリティ

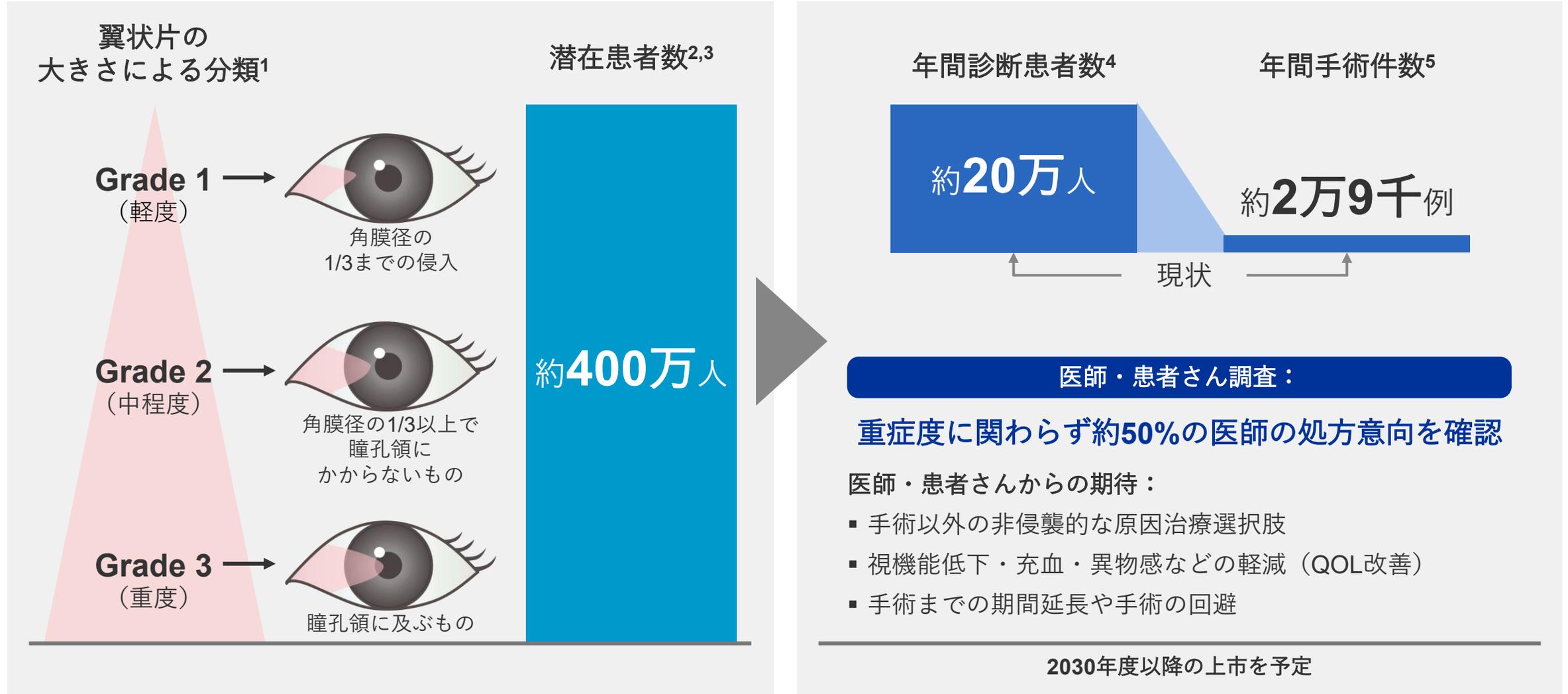
未だ治療薬が存在
しない疾患に対する
治療薬の開発

- 遺伝性眼科疾患、難治性角膜疾患などの治療薬開発

Santenのビジネスモデル



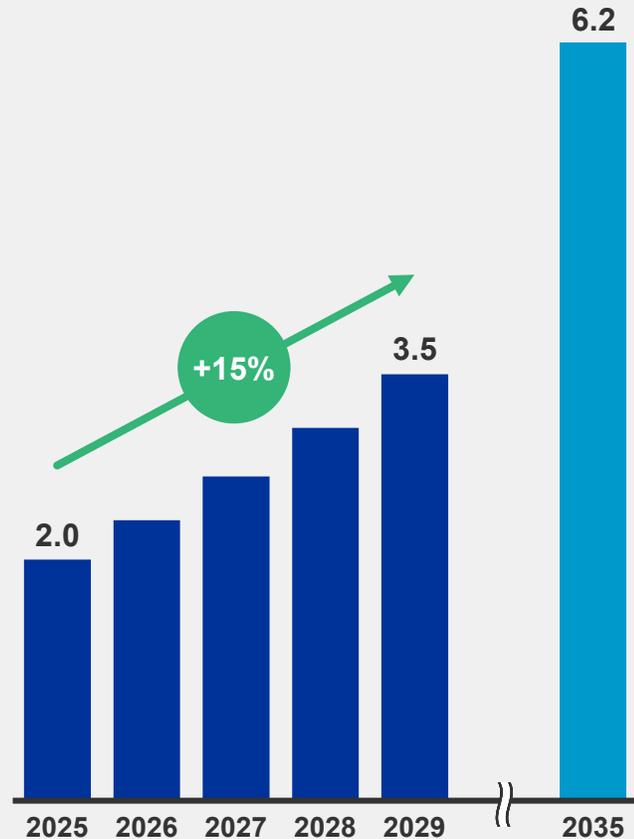
STN10142：日本における翼状片市場ポテンシャル



36 1 日本医事新報社, 2025,翼状片 [私の治療] ,https://www.jmedj.co.jp/blogs/product/product_16873 2 Tano et al, Acta Ophthalmol 91(3):e232-6, 2013. 3 金沢医科大学 佐々木ら, 紫外線の健康影響のリスク評価と効果的な予防法の確立に関する研究 (平成11-13年度 環境省地球環境研究総合推進費終了研究報告書) 4 株式会社JMDC提供データをベースに参天推計 5 第9回NDBオープンデータ、翼状片手術 (弁の移植を要するもの)

STN10143：中国における抗VEGF市場ポテンシャル

中国抗VEGF市場規模
(百万ユニット、予想)



参天分析

	Lucentis	Lumitin	Eylea	Vabysmo	Beovu	Eylea 8mg	STN10143 (想定)
中国での 上市時期	2012	2013	2018	2024	2025	2025	2027
作用機序	抗VEGF	抗VEGF 抗PIGF	抗VEGF 抗PIGF	抗VEGF 抗Ang2	抗VEGF	抗VEGF 抗PIGF	抗VEGF 抗FGF
適応症	wAMD, DME, RVO, DR, ROP, mCNV	wAMD, DME, RVO, mCNV	wAMD, DME	wAMD, DME, RVO	DME (wAMD/PDR 開発中)	wAMD (DME/RVO 開発中)	wAMD, DME

STN10143の特許保護期間終了は2035年以降

wAMD：wet age-related macular degeneration（滲出性加齢黄斑変性）、DME：diabetic macular edema（糖尿病黄斑浮腫）、RVO：retinal vein occlusion（網膜静脈閉塞症）、DR：diabetic retinopathy（糖尿病網膜症）、ROP：Retinopathy of prematurity（未熟児網膜症）、mCNV：myopic choroidal neovascularization（病的近視の脈絡膜新生血管）、PDR：proliferative diabetic retinopathy（増殖糖尿病網膜症）

4

Closing

上市を目指した重要パイプライン¹

全てのパイプラインはオントラック

■ 未参入市場への参入
 ■ 新規市場の創出
 ■ 既存市場の拡大

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日本	Ryjusea Myopia Setaneo Glaucoma	Upneeq Ptosis Rhopressa Glaucoma		Rocklatan Glaucoma	
EMEA	Ryjunea Myopia MicroShunt 11mm Glaucoma		Upneeq Ptosis Catiolanze, PFMD ² Glaucoma		Roclanda, PFMD Glaucoma
アジア			Ryjusea Myopia Upneeq Ptosis Catiolanze Glaucoma	Alesion Cream Allergy	
中国	Tapcom, UD ³ Glaucoma Verkazia, UD VKC ⁴		ARVN001 Uveitis STN1014300 DME Alesion LX Allergy	STN1014301 wAMD Ryjusea Myopia Eybelis, UD Glaucoma	Upneeq Ptosis Alesion Cream Allergy

39 1. ここに明記してあるパイプラインは各パートナー企業と開示が合意されたもののみであり、予定されているすべてのパイプライン、開発地域が明示されているわけではない。スケジュールは2026年2月末時点で想定しているベストケースであり、上市を確約するものではない 2. Preservative Free Multi-Dose 3. Unit-Dose 4. Vernal Keratoconjunctivitis (春季カタル)

再掲- 中期経営計画におけるグローバルR&Dのミッション

中期経営計画期間中の売上への寄与、及び2030年度以降の持続的な成長を実現する
Rxポートフォリオ・パイプラインを拡充する



承認取得
早期化

開発期間の短縮・
開発加速

- 臨床開発における施設選定・患者リクルートメントなどの改善
- 規制当局との早期相談・フィードバックの獲得



LCM

医療ニーズを捉えた
新剤型の開発・展開

- アレジオンクリームのアジア・中国での開発・展開
- PFMDによる利便性向上を目的とした剤型追加 (Catiolanze、Roclanda)
- 新製品の早期LCM着手



BD

メガファーマが着目
しないシーズ・製品の
獲得

- 開発・販売実績に基づく新規パートナーシップの機会による初の治療手段となる製品及び未参入市場の製品を獲得



製剤技術

新たな点眼薬治療の
可能性追求

- 後眼部疾患治療のためのDrug Delivery System (DDS) 技術など



新規モダリ
ティ

未だ治療薬が存在
しない疾患に対する
治療薬の開発

- 遺伝性眼科疾患、難治性角膜疾患などの治療薬開発

重要な注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。また、当社は本資料の内容を随時更新する義務を負うものではありません。
- リスク要因としては、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。医薬品行政の動向、社会・経済情勢ならびに法規制の変更、為替などの外部要因。後発品の影響などの競争環境の変化。主力製品への依存、ライセンス製品への依存、原薬供給等の特定の取引先への依存などの特定の製品・取引先等への依存。新薬開発の不確実性、研究開発投資が十分な成果を生まない可能性、他社との提携の成否などの研究開発活動に起因するもの。その他知的財産権、自然災害などに伴う生産の停滞・遅延、販売中止・製品回収等の製品供給に起因するもの、訴訟およびグローバルな事業展開に関わるリスクなど。
- 本資料には、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は投資家の参考になる情報の開示を目的としており、投資の投資勧誘や推奨を行うものではありません。投資に関するご決定は皆さま自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に記載された情報は今後予告なく変更されることがあります。本資料の利用にあたっては利用者の責任であり、記載された情報の誤り等を含み本資料の利用によって生じた損害について、当社は一切責任を負うものではありません。

